

## 熊本県立荒尾支援学校進路便り

# わーく&らいふ

令和7年度 第4号（通巻104号） 10月6日発行

### ■CONTENTS■

【トピック】令和7年度 ARA・SHI福祉・就労セミナー開催

ARA・SHI福祉・就労セミナー（福祉サービス事業所等説明会）は高等部卒業後の進路に関する情報を提供し、児童生徒や保護者に地域をつなぐ取組です。平成29年度から毎年開催しており、今年も、夏季休業中に3回開催しました。各回の概要をお伝えします。

## 1 概要

### 【第1回】7月29日（火）

就労継続支援A型事業所：2事業所

BLOOM、スマイルファクトリー

就労継続支援B型事業所：11事業所

とらいぶサポーター、ふくとく本舗、風工房、荒尾きぼうの家、nicola、銀河ステーション、WAKABA、ひまわりの里、第二天水学園、荒尾市小岱作業所、ルピカ



### 【第2回】7月30日（水）

就労継続支援A型事業所：6事業所

NEXT、ワンピース、なごみトライズ、なごみサポート、SHIKIRU、たまむすび

就労移行支援事業所：3事業所

ワンピース、たんぽぽ、ティオ大牟田築町

就業・生活支援センター：1事業所

熊本県有明障がい者就業・生活支援センターきずな

職業能力開発校：1校

熊本県立高等技術専門学校

一般企業：1社

荏原アーネスト株式会社



説明を聞く教師



## 【第3回】8月1日（金）

### 生活介護：9事業所

荒尾市小岱作業所、わがんせ、WAKABA、もんくうる、くじらのせなか、銀河ステーション、精粹園・クレヨン、るびなす、ひまわり

## 2 参加した教師(初任者)の声

- 「同級生が実際に事業所を利用しているため、どのような活動をしているか分かってよかった。高等部卒業後の進路の一つとして、就労の場を具体的に知ることができた。また、利用者の方々が楽しそうに過ごしている様子が印象に残った。」
- 「小学部の担任をしているため、卒業後の進路についてはこれまで具体的なイメージをもてなかったが、今回のセミナーを通して高等部での学びや卒業後の進路について知ることができ、大変勉強になった。」
- 「A型・B型事業所という名称は知っていたものの、実際にどのような仕事があるのか、工賃等について理解が浅かったため、大変勉強になった。また、保護者の方と一緒に話を聞く中で、どのようなことを心配し、質問されるのかを知ることができた。卒業後にどのような支援が求められるのかを考えるよい機会になった。」

## 3 がんばる卒業生の姿

「荒尾きぼうの家」の会場では、平成30年度卒業生Hさんの作業の様子が映像で紹介されていました。

### ○上田所長と指導員阿具根様のお話

Hさんは、毎日、元気よく出勤されています。養殖海苔網の目拾いの担当をされています。通所し始めて以後、7年間で約30個の工程を習得して、今では工程の最初から最後まで一人で行うことができるようになりました。自分なりに目標を決めて、日々取り組んでいるそうです。きぼうの家では最年少で、他の利用者さんからも、とてもよくしていただいています。

### ○Hさんへのインタビュー

がんばって働いて、お給料で買い物をするのが嬉しいです。大好きなサンリオの商品をたくさん集めたいです。仕事が終わって、家では夕食づくりの手伝いもします。得意料理は、スパゲティーサラダです。



来年度も、ARA・SHI 福祉・就労セミナーを予定していますので、たくさんの方の御参加をお待ちしています。

また、進路に関する疑問等がありましたら、担任を通じて御質問ください。

